

9月22日(土) 13:10~14:40

経済学部

よつや こういち
四谷 晃一 准教授

大学進学
の経済学

メッセージ

“何となく” 大学に進学しようと考えている皆さん、
経済学を用いて進学することの意味を考えてみませんか？

概要

現在日本の大学進学率は50%を超えています。こういった理由で多くの人が進学した方が良いと判断しているのでしょうか。この講義では進学行動を経済学的に掘り下げて考えてみます。

経済学では教育を主に投資と消費の二つの側面から捉えます。はじめに大学進学のコストと収益について概観し投資としての収益性を検証します。次に金銭面以外のメリットとデメリットを検討し、複合的な要因が「進学か就職か」や「学部選び」、「入学後の過ごし方」といった意思決定とどう関係しているのかを考察します。また、教育は経済成長や所得格差など国全体の経済・社会問題とも深く関わり合っています。この点についてもお話しします。

経済学を学ぶことの大きなテーマの一つは個人や企業、政府といった経済主体の意思決定の仕組みを理解することです。「進学」という身近な意思決定問題を通じて経済学的思考に触れてもらえればと思います。